



いわき連合

スポーツ情報

発行責任者：佐藤和良 編集：木戸順一

第15回定期大会開催

2015年12月2日(水)18時よりいわきワシントンホテル椿山荘において開催されましたいわき地区連合会第15回定期大会が盛会裏に終了いたしました。関係者の皆様には、心より御礼申し上げます。

◆大会スローガン

福島復興・再生に全力を尽くそう！

～ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者を連合の輪へ「安心社会」を切りひらこう～



◇佐藤和良議長



◇連合福島加藤光一事務局長



◇民主党代表：吉田泉氏



◇社民党代表：上壁充氏



執行体制改変

◇退任役員

左：緑川幹事（タンガロイ労組）

右：松島幹事（NTT労組）



◇議長団（吉田裕一議長・山野辺正人議長）



◇新役員（後藤幹事・鈴木幹事・今泉幹事・木戸事務局長）

《市長への要請報告》

去る11月19日、平成28年度予算編成に向けた市への要請を以下のとおり行いました。

1 雇用・産業について

- (1) 産業の活性化・支援について、震災から5年目となる現在の課題、ニーズに合わせた支援の在り方について検証し更なる推進をすること。
- (2) 雇用の維持・創出について、雇用のミスマッチ、雇用形態による待遇の格差、労働意欲や質の低下など、雇用に対する課題は山積していることから、働き方に対する意識やニーズに応じた対応策を強化すること。
- (3) 就労関係の健全化について、非正規労働者の急増により悪質な就労環境が顕在化していることから、ハローワーク等の関係機関と連携を図り、チェック機能の充実と指導及び周知・啓発について取り組むこと。

2 少子化対策について

- (1) 独身男女の「未婚化」「晩婚化」を低減する取り組みを強化すること。
- (2) 企業に対し「共働き」がしやすい労働環境の整備を図ること。
- (3) 共働きが企業イメージの向上につながる仕組みづくりに取り組むこと。
- (4) 定住に向けて新婚家庭や出産家庭などの生活支援を図ること。

3 医療・介護の充実・強化について

- (1) 新卒臨床研修医や既卒医師の確保に向けて取り組むこと。
- (2) 救命救急センターが本来の機能を発揮できるように、二次病院や開業医などとの連携による重症度に応じた受け入れ体制の確立に向けて継続的に取り組むこと。
- (3) 医師会などと連携し、地域包括ケアシステムの構築に引き続き取り組むこと。

4 交通・環境政策について

- (1) 公共交通の活用促進と確保について、バスをはじめとする公共交通機関は地域住民の足であることから支援を継続すること。
- (2) 中間貯蔵施設への輸送について、輸送上の安全を確保すること。

今市長との面談は予定時間を大幅に延長して行われ、当会に対し市長が理解を示していただいていることが実感できるものとなりました。本件において組織内議員の皆様には多大なご協力を賜りましたことを、心から感謝申し上げます。



予算要望書を 清水市長に提出

連合福島いわ
き地区連合会

連合福島いわき地区連合会（佐藤和良議長）は19日、清水市長に28年度市政執行と予算編成に対する要請書を提出した。

要請には、佐藤議長、志賀智、鈴木充副議長、木戸順一事務局長が市役所秘書課応接室を訪れた。佐藤議長が「地域の復興や活性化には安心して生活できる労働条件の改善が必要。施策への反映をお願いしたい」とあいさつし、清水市長に要請書を手渡した。木戸事務局長が要請の内容について説明した。清水市長は

清水市長に要請
書を手渡す佐藤
議長（右から5
人目）



「要請を精査し、施策への反映に向け努力していきたい」と述べた。阿部秀文、大友康夫、安田成一、上壁充市議が同席した。

要請書には、「雇用・産業」「少子化対策」「医療・介護の充実強化」「交通・環境政策」の4つを大きな柱に、12項目が盛り込まれている。

